

平成26年度ホタテガイ採苗情報（第3報）

平成26年5月13日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



県南部で小型ラーバが増え始める

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は6.8℃で、水深0m～50mまで6～8℃台と上昇してきています。透明度は6mでした。
- ラーバの出現数は県北部および県中部とも極めて少ないですが、県南部では200μm未満の個体が増え始めました。
- 試験採苗器（唐丹湾：5/7～5/12）に付着稚貝は認められず、付着盛期はまだ先となりそうです。

< 陸奥湾の状況（5月9日発行青森県ホタテガイ採苗速報） >

- 全湾で大型ラーバの出現数はさらに増加しており、西湾では採苗器の投入を勧めています。

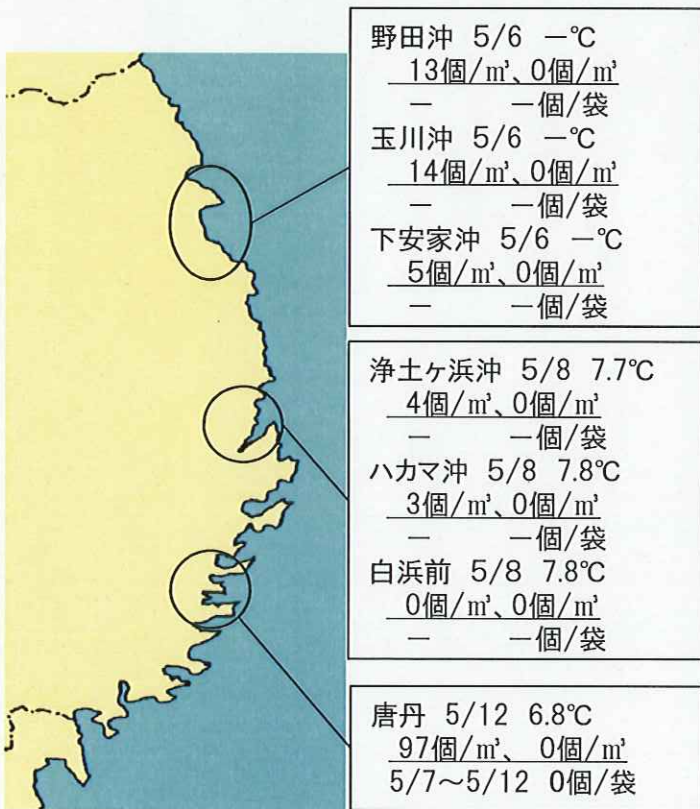


図1 各定点の調査結果

調査点	調査日	10m層水温
ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)		
試験採苗器垂下期間		付着稚貝数

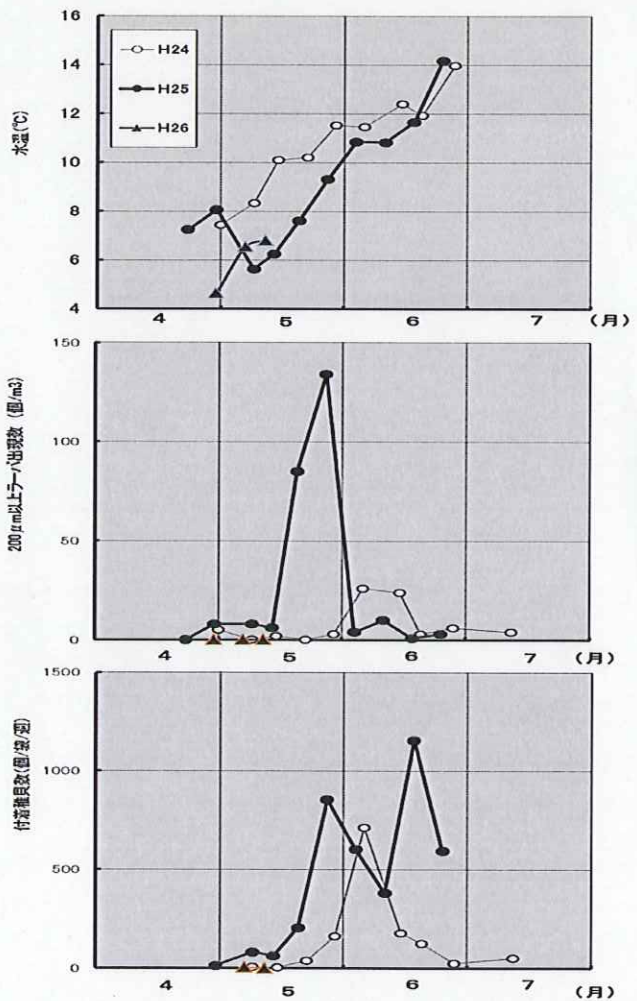


図2 唐丹湾における水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、5月20日に発行する予定です。